

# インタビュー

県立葛巻高等学校長

きくち まさる  
菊池 優 さん (57歳)



地域と連携してきめ細かい指導を

Q 自PRをお願いします。

前任は盛岡市立高校で、昨年4月に校長へ昇任し、本校にきました。家族と離れて、初めての単身赴任です。茶屋場の住宅では、時折、先生方と一緒に鍋を突いたり、独身以来の手料理を楽しんでいます。

出身は母が暮らす遠野市で、妻と娘二人は勤めや学校の関係で盛岡市に借家住まいです。

趣味は、中学時代から始めた剣道で、腕前は教士、七段をいただいています。ほかに、スポーツ全般が好きで、冬場は、平庭高原でスキーを楽しみたいと思っています。

Q 葛巻町民の印象は。

お祭りや各種催し物を見ると、多くの小中高生が参加しており、地域が一体となって活動しているとともに、伝統を受け継ぎながらも、新しいものを発見していこうとするエネルギーの感じられる町だと思います。

Q 葛巻高校の役割は。

地域に唯一の高校であり、進学、就職ともに皆さんの期待に応えられるような生徒を育てていきたいと思っています。

特にもこの規模の学校で、これだけ大学などへの進学実績を残している学校は、県内でもあまり例を見ません。今後この流れを止めないよう、サポートしたいと考えています。

Q 町民へのメッセージを。

きめ細かい指導を継続していくためには、2学級の維持が不可欠となります。地域と連携し、より一層信頼され期待を担える『魅力ある学校』づくりに努めていきたいと思っています。

## 今月の表紙



むかし話を聞いたり、もちつきなどを体験する「にこにこ子ども教室」が1月7日、森のこだま館で開催され、葛巻児童クラブの子どもら23人が参加。くずまきだる会(藤岡一雄代表)の皆さんが“くずまき弁”で話す布絵を使った「したきりすずめ」などに、熱心に耳を傾けました。

その後、子どもたちがついた“おもち”に、みんなで舌鼓を打ちましたとさ、“とっとばれ”。

## 情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

10月 8,000円 (平庭観光創立40周年記念式典ほか)

11月 15,000円 (町勢功労者表彰式ほか)

12月 34,000円 (消防防火懇談会ほか)

暦のうえで、もうすぐ立春。とはいえ、葛巻はまだ冬の真っ最中ですが、そろそろ春が待ち遠しい今日このごろです。

さて、議会だよりは、読みやすさと親しみやすさに配慮して1ページの紙面を4段にこだわって編集して参りましたが、多様なレイアウトが可能になり、より読みやすくなるのではないかと、本号から5段組に挑戦しました。ご意見・ご感想をお寄せください。

広報発行常任委員  
高宮 一明

編集後記

「くずまき議会だより」は、ユニバーサルカラーとユニバーサルフォントに対応しており、より多くの方に視認しやすく、判読しやすくように配慮して制作しております。一部当たり約40円で作成されています。

印刷：川口印刷工業株式会社 〒020-0841 岩手県盛岡市羽場10-1-2

